



瀬戸 三代 議員  
(あすなろ)



和倉温泉

一般質問

■和倉温泉の復旧・復興について

固定資産を無税にし、復旧・復興の後押しを！

質

和倉温泉と七尾が元気にならないと能登全体が元気にならないと強く思っており、和倉温泉を能登や七尾に夢を与える復旧・復興のシンボルにすべきと考える。

①和倉温泉旅館協同組合加盟施設22件の固定資産税の年総額はいくらか。

②1月1日からの売り上げがゼロであり、復旧・復興の後押しとするため、固定資産税を無税としてはいかがか。減免については想定内である。

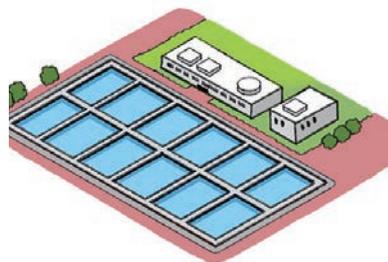
答

①和倉温泉旅館協同組合加盟施設の固定資産税の年総額は、償却資産も含めて約3億1,000万円である。

②固定資産税は収入に応じて課税するものではなく、資産価値に応じて課税するものである。そのため令和6年度は、令和6年能登半島地震により被害を受けた土地及び家屋についても、令和6年1月1日時点における被災の状況に基づいて評価し、課税する。法に基づき適切に対応していく。



西川 英伸 議員  
(市民クラブ)



一般質問

■下水道サービスの持続的提供について

予算確保の取り組みについて伺う。

質

良質な下水道環境を維持するためには、一部の設備の長寿命化ではなく、ストックマネジメント計画に基づく適切な検査と管理が必要である。

国の予算は、浸水対策、地震対策に重点が置かれており、管渠などの老朽化、下水道施設の改築に対する国家補助の削減・廃止が懸念されている。道路の陥没などの事故防止の観点からも、下水道施設の改築に関わる国庫支援を確実に継続してもらいたい必要がある。これまでの要望活動とその成果を伺う。

答

七尾市では、下水道施設の適正な維持管理や健全な下水道事業会計の運用を図るために、令和4年度からストックマネジメント計画を策定しており、施設の改築事業を実施するためには、国庫支援は大変重要であると考えている。

要望活動については、石川県下水道協会として、県内自治体と合同で国土交通省や財務省、石川県選出国会議員に対し、管渠の老朽化や下水道施設の改築事業に対する国庫補助の継続など、地方が求める予算確保の要望を行っている。

今回の震災を受け、再度、現状把握を行い、ストックマネジメント計画の前倒しやそれに伴う予算の確保など、さらに要望していきたい。